

花を取るか実を取るか

美しい女性の姿をたとえて、「立てば芍薬(しゃくやく)、座れば牡丹(ぼたん)、歩く姿は百合(ゆり)の花」といいますが、かつて、これをもじって「立てばパチンコ、座れば麻雀、歩く姿は馬券買い」という言い回しがありました。ギャンブル好きの人のことをたとえたものですが、ここではその中のパチンコにまつわる統計情報を紹介したいと思います。



全日本遊技事業協同組合連合会の資料(※1)によると、パチンコ店を含む遊技場は全国で13,585店舗あり、都道府県別のランキングは下の表のようになります(5位までを掲載)。店舗数で見ると人口の多い都府県に多く所在するのに対し、人口10万人あたりの店舗数では比較的人口の少ない県が上位にランキングされていることがわかりました。

【遊技場店舗数(※1)】平成19年12月31日現在
 <<店舗数>>

順位	都道府県	店舗数	10万人あたり 店舗数(順位)	推計人口(千人) (※2) (順位)
1	東京都	1,252	10(29位)	12,758 (1位)
2	大阪府	1,049	12(10位)	8,812 (3位)
3	愛知県	747	10(29位)	7,360 (4位)
4	埼玉県	737	10(29位)	7,090 (5位)
5	神奈川県	715	8(44位)	8,880 (2位)
22	熊本県	196	11(21位)	1,828 (23位)

<<人口10万人あたり店舗数>>

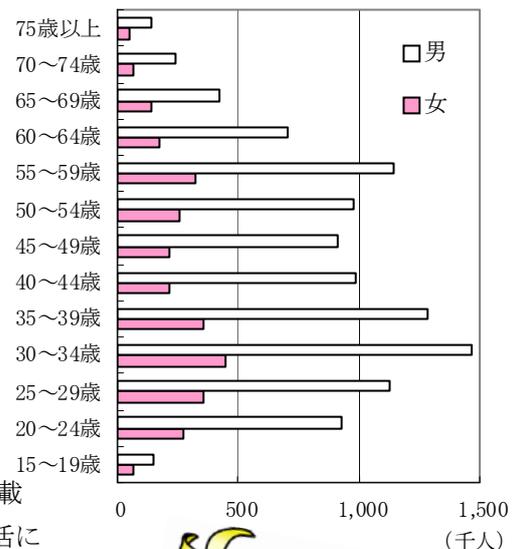
順位	都道府県	10万人あたり 店舗数	店舗数(順位)	推計人口(千人) (※2) (順位)
1	鹿児島県	16	279(14位)	1,730 (24位)
2	高知県	14	112(38位)	782 (45位)
2	宮崎県	14	160(28位)	1,143 (36位)
2	群馬県	14	280(13位)	2,016 (19位)
5	栃木県	13	270(16位)	2,014 (20位)
5	鳥取県	13	79(46位)	600 (47位)
5	岐阜県	13	272(15位)	2104 (17位)
5	長崎県	13	184(24位)	1453 (26位)
5	茨城県	13	375(11位)	2969 (11位)
21	熊本県	11	196(22位)	1,828 (23位)

(※1) 遊技場にはパチンコ店、スロット、アレンジホールを含む
 (※2) 平成19年10月1日現在の推計人口



次に、社会生活基本調査(※2)の「趣味・娯楽」の項目から、1年間にパチンコをした人について年齢別(5歳別)にみてみましょう(右グラフ)。男女ともに20代後半から30代が多く、次に50代後半が多くなっています。

以前、玉が入るとパチンコ台のチューリップの花がパッと開く機種がありましたが、花開くと言えば、肥後六花園(熊本城竹ノ丸)では、肥後六花(※3)の一つである肥後芍薬(しゃくやく)が今月(5月)見頃とのことです。30数年前までは、立ってやるものだったパチンコに思いを馳せながら、すらりと美しく咲く芍薬(しゃくやく)を見に出かけてみてはいかがでしょうか？



(※1) このデータについては、熊本県統計冊子「熊本くらしの指標100」にも掲載

(※2) 5年ごとに行われる抽出調査で、直近はH18年10月に実施。日々の生活における「時間の過ごし方」と1年間の「余暇活動」の状況など、国民の暮らしぶりを調査するもの。約8万世帯の約20万人を対象としている。

(<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2006/index.htm>)

(※3) 肥後六花および肥後六花園

(熊本城HP: <http://www.manyou-kumamoto.jp/contents.cfm?id=427>)

